

イエズスは、弟子たちの足を洗い、まとった手拭いでこれをふきはじめられた。…「私のすることを、あなたは今は知らないが、のちに分かるだろう。」



洗足式（4/1 聖木曜日）12名の信徒が祭壇の前に一同に並んだ。

「島のひかり」ホームページアドレス

<https://shimanohikari.jimdofree.com/>



発行

カトリック浦頭教会
広報委員会
五島市平蔵町2716
TEL 0959-00072
印刷・(株)才津印刷所

「いつから?」

主任司祭 工藤 秀晃

新たに何かを始めるためには、多かれ少なかれエネルギーを必要とします。しかし、それでもその始めることが自分の好きなことや楽しいと思えることなら、それほど躊躇することなく、いやむしろ足取りも軽くスツと始めることが出来るのでしようが、それが苦手だったりあまり気乗りしないことだったりすると、「やらないといけないとは思わんだけ、ちょっとね:」なんて言いながら、あれやこれやと理由付けをしてなかなか重い腰を上げることが出来ず、ついつい先送りになってしまうというのが常のように思います。そのような、人のありようを見事なまでに言い表したのを見つめました。

【1月】初っ端から飛ばすと後でばてる。2月から本気を出す／【2月】まだまだ寒い。これではやる気が出ない。3月から本気出す／【3月】年度の終わりでタイミングが悪い。4月から本気を出す／【4月】季節の変わり目は体調を崩しやすい。5月から本気を出す／【5月】

区切りの良い4月を逃してしまつた。6月から本気を出す／【6月】梅雨で気分が落ち込む。梅雨明けの7月から本気を出す／【7月】これからどんどん気温が上昇していく。体力温存の為に暑すぎず本気を出す／【8月】暑すぎず本気を出す／【9月】休みボケが抜けない。無理しても効果が無いので10月から本気を出す／【10月】中途半端な時期。ここは雌伏の時。11月から本気を出す／【11月】急に冷えてきた。こういう時こそ無理は禁物。12月から本気を出す／【12月】もう今年が終わる。今年にはチャンスが無かった。来年から本気出す。そうして、この最終形態は「来世から本気を出す」となるのだそうです。

林修さんの決め台詞「いつやるか?今でしょ!」ではありませんが、仕事や勉強にしろ、ミサや祈りにしろ、日々の生活の中で先送りしてきた事柄や先送りしてしまいたいようなことに對して、「やる」と決断して始めない限り、「明日から・来週から・来月から・来年から:本気を出す」なんて言い続けているうちに時は過ぎ去って、気づけば

死ぬまで何も変わらないなんてことになるのかもしれない。ちなみに、「やる」と決断した人は、『1月』年の初めだしスタートダッシュで本気出す。【2月】2月は短いから無駄にしないために本気出す。【3月】年度の変わり目だから最後の追い込みで本気出す。【4月】春は心機一転新しい環境に早く慣れるために本気出す。【5月】落ち込みやすい時期だから油断しないために本気出す。【6月】今は梅雨時期だからからその他の人に差をつけるために本気出す。【7月】カラッといい天気で活力がみなぎるからこそ今まで以上に本気出す。【8月】暑さで気がたるみがちだけど折角盆休みがある今だからこそ本気出す。【9月】気温も落ち着いて活動しやすい時期になってきたしこれから先も本気出す。【10月】寒くなる年末がくる前に面倒なことは片付けておきたいと思うから本気出す。【11月】冷えてきたけど余裕のある年末をこれから迎えるために今の内から本気出す。【12月】今年締めだからこそ最後まで気を抜かず本気出す。のだそうです。

2021年度 浦頭小教区評議会役員名簿

評議会会長(主任司祭) 工藤 秀 晃		信仰教育委員会 委員長 鍋内 秀 喜 副委員長 木口 北 斗 会 計 鍋内 総 長 修道院長 Sr.竹口 菊美 カテキスタ Sr.川口(初聖体)小1年 Sr.藤原(小1、2年) Sr.山添(小3、4年) 神父様 堅信組 (5、6年)	
議 長 赤尾 一 美 副議長 鍋内 秀 明 書記 入口 信 隆 会 計 浜口 幸 隆	地区委員会 委員長 鍋内 康 則 会 計 梅木 強 (地区委員) (補佐委員) 浦 頭 鍋内 康則 赤尾 克子 浦口 一三 吉川 春子 大 泊 梅木 強 浜 泊 浜口 信行 江口 初子 堂 崎 入口 明宏 入口 君子 宮 原 大楠 進	典礼委員会 委員長 小田 哲 也 副委員長 浜口 幸 隆 委 員 本村 義則・浦口 一三 浜崎 秀明, 荒木 善弘 浜崎 毅(聖歌) 浜崎 哲司, 鍋内 総長 鍋内 孝之, 木口 北斗 赤尾 幸治, 江口 初子 川口 秀子	
経済問題委員会 (堂崎天主堂保存委員会) 委員長 鍋内 誠 次 会 計 木口 秀 憲 川口 孝 章 鍋内 秀 明	シメオン・アンナ友の会 会 長 浜口 信 行 副会長 鍋内 康 則 副会長 鍋内 初 恵 書記会計 川口 富 子	広報委員会 委員長 竹山 要 司 副委員長(島のひかり編集長) 木口 重 憲 会 計 木口 誠 也 委 員 小田 洋市, 竹山 巧 入口 信, 江口 初子 赤尾 管子	
壮年会 会 長 川口 嘉 久 副会長 赤尾 健 野 書記会計 濱 崎 毅	女性会 会 長 木口 静 枝 副会長 出口 澄 子 書記会計 浦口 恵 子		
福祉委員会 会 長 川口 清 人 会 計 鍋内 純 子	青年会 会 長 川口 広 平 副会長 鍋内 利 輝 会 計 鍋内 麻 美		

堅信式を終えて

二月十一日、九時より浦頭教会にて中止になった下五島合同堅信式に代わり、小教区堅信式を行いました。工藤神父様司式のもと、両親・代父母に見守られた受堅者六名は、新たな決意とともに聖霊の恵みを受けました。式後に記念写真と神父様より各人へケーキのプレゼントがあり、笑顔があふれていました。



黙想会

去年中止となった今年の黙想会は、例年の三日から二日間に縮小し、三月八日～十一日の期間を昼・夜の四班に分けて行われました。担当は福江教会助任、金司祭、稲田司祭に説教をして頂きました。ゆるしの秘跡の悔い改めの祈りに関する神様のゆるしの先行性について学びました。併せて百人隊長や放とう息子のたとえ、家庭教育が信仰を伝えていく上で重要であることを再確認する事ができました。



講話される稲田神父様

小教区再編を考える

去年の教報で取り上げられていた小教区再編について、我々小教区でもアンケート方式で信徒より回答を頂いた。

- 三月に行った内容は、
- 一、小教区が再編されることとなった場合、何らかの影響があると思われませんか。
 - 二、もし、主任司祭が常駐できなくなった場合やシスターの教会奉仕が減少した場合、どのような影響が考えられますか。
 - 三、司祭やシスターが減少した場合、どのようなようにしたら私たちの教会共同体や信仰生活を守り、助けることができますか。
 - 四、上記以外での不安や希望があればお聞かせください。
- 以上、四点について行った。色々と考えさせられる内容でしたので、今後の島のひかりで取り上げていきたいと思えます。



旅立ち

(新卒者移動)

三月七日、ミサ内にて新卒移動者の報告と激励会が行われました。四月より新たな生活となる二名の高校生。入口駿一朗君は福岡へ、鍋内優海君は長崎へ。それぞれ将来の目標の為に進学されていきます。信徒の皆さんからの大きな拍手は、激励と島から見守っていますとの意味があったと思います。



左：入口君、右：鍋内君

浦頭小教区の歴史及びデータから考える今

Ⅲ

久賀島の牢屋の窄に代表されるような迫害を乗り越えて、ほのかなあけぼのが見え始めたのが、一八七三年（明治六年）のキリシタン禁制の高札の撤去でした。ただ、高札は撤去されても、信教の自由まではいきつきません。ただ、実質的には黙認の状態であり、追放は止まり、投獄されないようになっていきます。

奥浦地区でも、フランス人のマルマン師が一八七九年（明治十二年）に大泊に聖堂を建設、翌年には堂崎天主堂を建立。更に、同年の十月には孤児・貧児の養育所として奥浦慈恵院を創立させ、布教の光を広げていきます。

ここから、奥浦慈恵院の歴史に触れていきます。

パリ外国宣教会のマルマン師が五島に着任したのは、明治十年でした。その当時、奥浦・大泊に腕の良い産婆・梅木マセという人がいました。彼女は、その仕事に携わりながら「まびき」という不義の子、双子等が闇から闇に葬られて行く行為を目の当たりにし、心を痛め、この事をマルマン師に報告しました。

マルマン師は、早速こうした不幸な子供達の救済に乗り出します。当時、師の賄いをしていた濱崎ツイをはじめ、近隣の熱心なカトリックの家庭の娘達に協力を求め、大泊の一民家である梅木マセ宅を借り受けて養育を開始しました。時は明治十三年。これが「児童養護施設・奥浦慈恵院」の起源です。

その後、慈恵院は石山と呼ばれる奥浦と堂崎の中間ぐらいの所に移設され、一世紀以上に渡って、奥浦湾の透き通った水面を子供達と修道女（Sr）と共に見降ろし続けます。

慈恵院が現在の場所に居を構

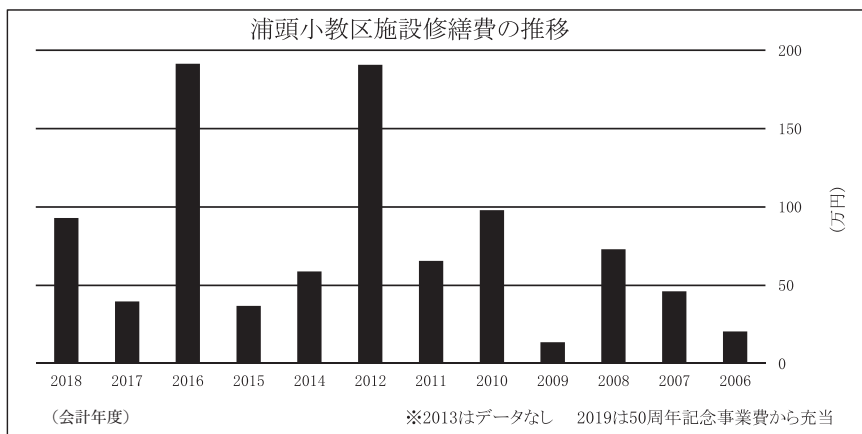
えたのは二〇〇六年。家庭環境に近い小グループに分けたユニットにして、一人ひとりの子供が安心して、安全な生活を保てるよう配慮しています。

施設では多くの年間行事があり、特に夏祭り、クリスマス会等は、アットホームな雰囲気であら客に笑顔をプレゼントしてくれます。

慈恵院が出しているパンフレットの表紙には、院の歩みそのものを表す聖書の言葉「喜び、人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」と記されています。



堂崎の砂浜から旧慈恵院を望む



今回は、費用の面からデータを捉えました。なお、少額な分に当たる備品修繕費は、データから除いています。

浦頭小教区施設修繕費の推移

初聖体の恵み

二月二十八日、少子化に悩む我々小教区。今年是一名と少ないですが初聖体の恵みを預かりました。平和のばら年長の入口里彩さん、前日はリハーサルと初めてのゆるしの秘跡。当日は一名で少し緊張する場面もありましたが、川口園長の御指導のおかげで祈り、あいさつを上手にする事ができました。

また、信徒の皆さんに顔を覚えてもらおうと祭壇の高い所から振り向く場面もありましたが、



はずかしかったかな？

小教区では現在、小学二年生から侍者の練習を始め、日々のミサで頑張っています。子供達に神様のお恵みがありますように!!

以下、初聖体感想

はつせいたいのパンをいただくというれしかったです。

これからはおいのりときょうかいにいっぱいいくようにがんばります。

いりぐち りさ



集大成の日々にしたい

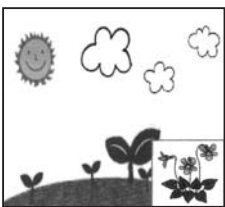
奥浦修道院 Sr 木口直恵

「故郷は遠きにありて思うもの」、そのような気持ちで長年過ごしてきました。このたび久しぶりに入会した修道院に戻ります。もちろん、途中で数年地元に戻りましたが、通過点だと感じました。七十歳を迎える今年、修道生活の集大成の時と考えています。入会は現在の修道会ではなく、奥浦修道院に入会し、先輩姉妹の指導を受け、小教区の神父様や信徒の皆さん、地域の方々に支えられて修道生活の基礎を学びました。だから、育てていただいた方々への感謝が大きく、少しでも恩返ししたいという気持ちがあります。お祈りで返すことはできませんが、動ける間に小さい奉仕をしたいと思っています。これまで様々な仕事をしてきましたが、資格を活かした仕事にはあまり就けませんでしたが、仕方のないことですが、今後は新たな挑戦と時代にあった方法の学びで自分の

信仰生活を活性化し、福音宣教に活かしたいと思います。

アルメイダの奥浦村教会創設と宣教、潜伏期の歴史と復興期の霊的遺産はすばらしいものです。その光の中で、大泊、堂崎に誕生した奥浦修道院は小教区の信仰的環境の後ろ盾によるものです。有名な言葉の一端を借りると「地元の地元民による地元のための奉仕」を続けたい心篤い女性たちにより継承された祈りと行いの実りです。

個人的には、辞令毎に仕事が変わり大変でした。しかし、大掃除の必要な所への掃除係を依頼され、湯布院や川棚に月一回、また二回と通ったことが私の経験の宝です。「修道者の最高の徳は謙遜」と教えてくれた松下神父様の論しを、少し実行できなかなと感じます。残りわずかな人生ですが、謙遜の徹底を目指して頑張りたいと思います。ご指導の程、よろしくお願い致します。



3月14日 御ミサ・ 中村長八神父様 の為に



中村神父様の墓から見おろして

長八神

父様は、

一九四〇

年三月十

四日、ブ

ラジルの

地におい

て天国に

召されま

した。神父様は現在、

福者にな

る道を少しずつ進んでおられま

す。

生前の一つのエピソードを紹

介します。

ブラジル移民の地は、ほとん

どが荒れ果てた場所であり、移

り住む前の広報・「植民地には

学校があって、子供の教育に事

欠く事は絶対ない”は偽りでし

た。

学校の必要性を強く感じていた長八神父様は、植民地の人達

に自分達の手で建物を建てる事を勧めます。

ブラジル移民の地は、まだまだ未開発であり、学校建設の為に国の方策等は、決まっていませんでした。

長八神父様の勧めに対して、植民地の人達は、

「でも、神父様。病気だ、怪我だ、なんだかんだで物入りが多くて学校の建設までとても手が出ませんわい。」

「植民地には、今二十三世帯いますな。それだけいけば、小屋一棟建てるぐらいのことは金が無くて出来やしませんか。土地はいくらでもあるし、材木は焼いても焼き切れない程はあるんだから。先生はむろん雇わなきゃなるまいが、給与の方は

たいしたことなく雇えるはずですよ。先生は、わしが頼んであげますよ。」

植民地の人達は各々が頑張つて、数日で十坪当たりのござっぱりした建物を建ててしまった。加えて、日本人の教員もその後、勤務するようになった。ただ、

ブラジル人の先生も必要だと考える中村神父に対し、植民地の人達は「神父様！ブラジル人の先生は来てもらわなくても結構です。」と強く宣言します。

それに対して長八神父様は「ここは日本ではなく、ブラジルでしょう。しかも、あなた方は、この植民地から出て一本立ちするつもりでしょう。そうしたら、土地を買い入れるにしても、畑で出来たものを市場へ出すにしてもブラ



中村神父様生誕地に立つイヌマキの木と案内文

ジル語でしっかり話せる事が必要でしょう。まして、ずっとブラジルで育つ子供達はこの国の



言葉の読み書きが出来ないと、上の学校に進めないし、学校ではブラジルの地理・歴史を勉強する事が法律で決められていますよ。」

最後の問題は、ブラジル人教員の住む家でした。

中村神父は、サンパウロの教育会に補助を頼んでみる事を約束し、封筒に寄付を入れて植民地の人達に渡しました。

彼の情熱はその後、彼自身が発起人になったフランシスコ・ザビエル学校の建設にも繋がっていきます。

今、当学校からは、多くの著名人が輩出され、ブラジル、日系社会の為、大きな貢献をしています。



島のひかり歴史

昭和四十年頃、浦頭の赤尾俊重氏が、ガリ版で教会報を出していました。昭和四十七年三月、野下千年主任司祭の時、「島のひかり」と言う機関紙を発刊することにになった。先祖たちは昔、迫害から信仰の安全を求めて五島に移り住みましたが、今日、子孫たちは島を離れて、都会に生活の保障を求めねばならなくなりました。そして、日本各地に郵送することになり、多額の出費がかかるようになり、当時、教会の役員をはじめ、信徒の方々、愛読者の方々より御芳志が寄せられたが、時の流れか段々と少なくなってきました。そんな時、橋口朝光神父様（一九九八年〜二〇〇四年）が地区集会の折に、「島のひかりを無料で読んでいいの。一戸につき月額百円出さない」と言われ実行して来ましたが、又、今日危い事態になった事を禁じ得ません。

秘跡

ヨアンナ 谷口キト 八五歳
 死去 一月二十五日 嵯峨瀬
 ドミニコ 鍋内 勇 九二歳
 死去 一月三十日 浦頭
 テレジア 入口松枝 八七歳
 死去 二月十八日 堂崎
 イグナチオ 宮川喜一 八八歳
 死去 三月二十一日 半泊
 モニカ 中尾カズ子 八二歳
 死去 四月三日 平蔵

“ありがとう”

次の方々より御芳志を頂きました。感謝いたします。

山崎 栄 司様 浦頭
 木口 ヤエ子様 浦頭
 出口様 東京練馬区
 入口 春 男様 千葉
 大河内 千賀子様(旧姓赤尾)
 辻本奈津代様 東京(旧姓赤尾)
 赤尾 若 智様 大阪府
 大田 秀 隆様 福江
 木口 涼様 諫早
 匿名様 二名 浦頭
 匿名様 長崎市
 濱口 末明神父様 平戸市
 半泊教会

おたより

雇用止めや失業、休業、在宅ワーク等、厳しい現実の中にあり戦いながら祈っています。

練馬区 出口様

五島より離れまして四十年以上となります。島のひかり毎回懐かしく、編集に携わる皆様のご努力に感謝しつつ、愛読させてください。今後、益々の浦頭小教区のご発展と信徒の皆様のご健康、ご多幸お祈り致します。大河内千賀子様

カトリック浦頭教会の皆様、コロナ禍の中でも、お元気でそれぞれにご活躍のことと思います。こちらの園児、女子高校生、教職員、シスター十名も、みな元気にしています。

宮崎都城市 Sr櫻本京子様

おたよりをいただく度に感謝し、お礼をしようと思いましたがなかなか実行できず現在に至りました。四十年近くも送っていただいた事を思えば、ほんの少

しですが、何かのお役に立てましたら幸いです。

東京都 辻本奈津代様

お詫び

二二六号 御名前を訂正致します。

鳥瀬神父様 誤り
 熊谷神父様です。

ふるさとだより

カメラ持って奥浦へ、ゴー!!

平成二十九年に、観光客にもう一泊してもらおう施策が始まっ



平蔵に完成した花壇



ブロック塀からフェンスに(旧慈恵院跡地)

たフラワーロード事業。

二月には追加で、平蔵く會館前バス停留の約八百メートルに桜の植樹と、カラフルに彩られた花壇が見られます。

また、旧慈恵院跡地では大きく茂っていた雑木が伐採され、敷地のブロック塀はフェンスに替えられています。

コロナ禍ですが、奥浦は良い風景がますます増えています。ドライブにもツーリングにも、また運動を兼ねた散歩にも利用されてはいかがでしょうか。

家族愛のおもてなし処

コンタツ堂



浦頭教会に面した場所にある、赤尾常弘さんの奥様スエミさんが営まれているコンタツ堂。店内には、娘さん達の手がけられた数々の商品が陳列。コンタツも可愛くデザインし、教会をモチーフにマーケティングテープ・絵葉書・ボール等がある。店内二十畳程のフローリングスペースもあり、巡礼の方も多く訪れ交流が深まっている。店内で製造されているふくれもちを買って飲食オツケー、持参物をイートインオツケーとの事です。土日営業。遠方に関わらず御電話頂きましたら対応可能との事です。良き訪れがありますように。

待望の女性農家さん

作物とにらめっこの連日。大変さを感じさせない、控えめで、芯の強さを感じさせるお人柄の浦頭に住む鍋内礼美さん。トラクターを扱う姿は、とても頼もしい。周囲の方々への恩返しと感謝の意を込め、地元での農業を決意。県の農業公社の研修を得て、自分の経験と個性を存分に生かせたらと試行錯誤。多くの方が荒地の提供、声かけ、知恵を出し合い、作物はすすすく地を這うように見事です。音楽を楽しみながら、大変な作業をこなす彼女にあっばれ。

御手伝い大歓迎(笑い)。
礼美ちゃんファイト!

農地、荒地で御悩みの方も相談可能かも? 両者にご縁がありますように。



編集後記

春の兆し満載。幾重にも続く山々に野桜が色んな表情を覗かせている。

何かと忙しい三月・四月、素敵な一輪との出会い心豊かになりますように。前回途中から会に参加している私は、この機関紙に目を通す機会が増え、永眠された方を懐かしく偲んだり、時には一人笑ったり、多くの方が携わり今日に続いている事も新たな発見でした。此れまでの先輩方は、人も出来事も多かったです。何事に関しましても、累代までも遡れる程の本誌継続に改めてご苦労と感謝を感じています。

昭和四十七年、私が当時七歳の時にスタート。野下神父様、信徒の先輩方、大変御疲れ様でした。

私と同じように共感して下さい、ぜひご協力御願ひしたいのですが、お声かけ下さいますと幸いです。何も考えないで来て下さい。(笑い)

深々とお願い申し上げます。

赤尾 管子